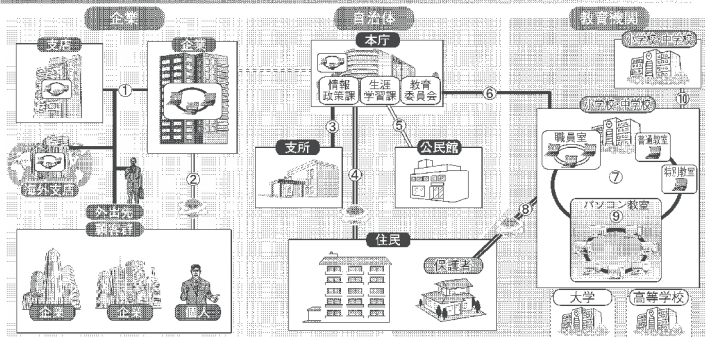


人と人の繋がりのあるところに**コラボノート**があります



- ①～②企業向けコラボノート ③～⑤自治体向けコラボノート ⑥～⑩教育機関向けコラボノート
- ① 企業内情報共有システム ③ 自治体内情報共有システム ⑥ 教育委員会・先生専用情報共有システム
- ② 企業・顧客間情報共有システム ④ 地域情報公開システム ⑦ 地域情報公開システム
- ⑤ 生涯学習情報共有システム ⑧ 学校内情報共有システム ⑨ 児童・生徒情報教育システム
- ⑩ 学校情報公開システム ⑪ 学校間交流システム

コラボレーション型グループウェア **コラボノート**

教育用ソフトウェアの分野で優れた業績を誇るジェイアール四国コミュニケーションウェアは、企業向けソフト「コラボノート」を開発、販売している。教育用ソフトで評価を得る操作性の良さに加えて、ビジネス向けに機能をアレンジし、使い勝手の良い点がセールスポイントとされる。これまでの同社ソフトと違いブラウザだけで動くため、端末側に事前インストールの必要もなく、導入の手間もかからなくなった。簡単に使いやすくなった「コラボノート」を紹介する。

■JR四国コミュニケーションウェア

コラボノートを使った会議。資料と出席者の発言を併せて登録しておけば、後から検索して確認できる

「ヒヤリ・ハット運動」に活用—JR四国

「コラボノート」を活用する会社の1つが、親会社であるJR四国。同社は今年1日から、日々の業務に潜む事故の芽を小さいうちに摘む「ヒヤリ・ハット運動」にコラボノートを使っている。

これは営業、運輸、工務部門を主体とした各職場から、ヒヤリとした体験とその防止策、安全に対する意見などを挙げる運動。

コラボノート導入前は職場内に意見収集用の箱を設置し、事象などを書いた紙を社員が投函し、それに各職場の責任者が対策を記入して安全推進室に送り、データベース化していた。導入後は責任者が報告を受け、職場内のパソコンで規定のテンプレート

呼び出し「いつ」「どこで」などの項目別に入力。即座に登録され、ほかの職場のパソコンからも見ることが可能となった。

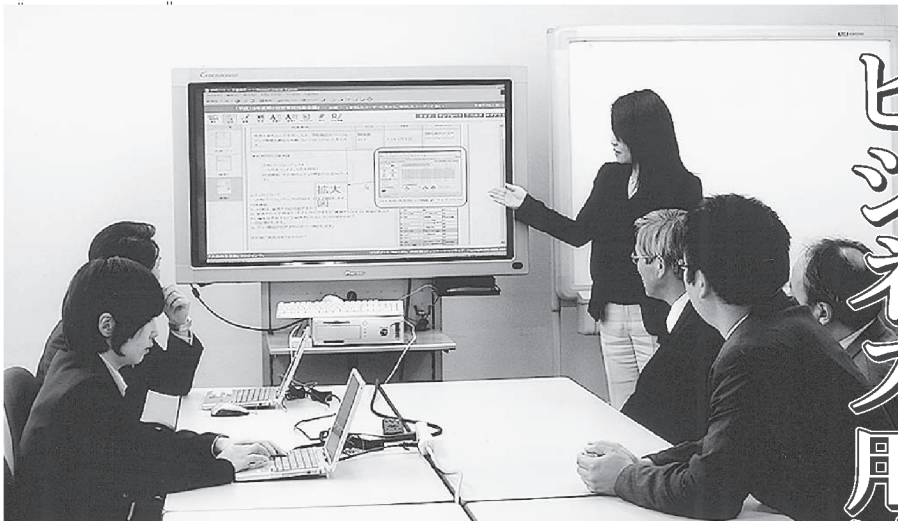
JR四国では「発生直後の事象が登録されて情報を早く共有できるとともに、ほかの職場からの意見も入り」できるようにした」と利点を挙げる。

登録された情報は職種や発生箇所などで検索できるため、各職場で想定される事故情報だけを抜き出すことも簡単だ。安全推進室では、後から事象を探しやすいようにデータベース化していたが、その作業も不要になったという。



ヒヤリ・ハット運動での活用例。指定様式に沿って書き込むだけで、簡単にデータベース化される

るといふもの。ノートを 務連絡用の掲示板、あるいは人々や書き込める人、いは部署内の意見収集を一文書ごとに限定でき、活用方法は自由自在なので、電子メールや業だ。



実績ある教育用を ビジネス用途に

「コラボノート」の誕生。2月、コンピュータの経緯は、そのまま同一を使った教材を販売す社の歴史と重なる。同社の「四国ラインズ」としては1990年(平成2で設立。製品を四国内の学校に販売する中で、使表、文字などを組み合わせやすいソフトウェアを

求める現場の先生の声を データベースに登録しての作品を作る。グループの教材販売の代理店契約を基に、簡単に教材を作る ことができ、後から検索して 引き出し、見ることができ、所から一枚の横造紙に替 変更している。 「わいわいレコーダ」の学校に導入され、全国 数百万人以上の手ごもた ちに使われてきている。 その実績の上で、これら3商品の機能を統合し、白社サーバーにインストールしてユーザー登録 すれば、端末側は 名前とパスワードを入力 するだけで使えるコラボ ノートが誕生した。

教育用は8000校で導入

求める現場の先生の声を データベースに登録しての作品を作る。グループの教材販売の代理店契約を基に、簡単に教材を作る ことができ、後から検索して 引き出し、見ることができ、所から一枚の横造紙に替 変更している。 「わいわいレコーダ」の学校に導入され、全国 数百万人以上の手ごもた ちに使われてきている。 その実績の上で、これら3商品の機能を統合し、白社サーバーにインストールしてユーザー登録 すれば、端末側は 名前とパスワードを入力 するだけで使えるコラボ ノートが誕生した。

コラボノートのトップ画面。新規発言には「NEW」、書き込みがあれば「UPD」の文字が表示され、一番上に繰り返り上がる

